

公認心理師省令科目の認定心理士科目各領域への対応(案)

- ・この対応表は公認心理師省令科目名から内容を推測し、認定心理士科目の各領域に当てはめたものです。
- ・最終的な判断は科目内容から認定委員会で行います。
- ・科目対応を含め、科目分割の可否等、現在検討中であり、この表の内容は、今後、変更される可能性があります。

科目名	認定心理士資格 対応認定領域(予測)	認定心理士(心理調査)資格 対応認定領域(予測)
1 公認心理師の職責	x	
2 心理学概論	a 基	
3 臨床心理学概論	g 基	
4 心理学研究法	b 基	1.概論領域 ※3
5 心理学統計法	b 基	2.統計領域
6 心理学実験	c 基	
7 知覚・認知心理学	d 基	
知覚・認知心理学(知覚心理学)	d 基	
知覚・認知心理学(認知心理学)	d 基	
8 学習・言語心理学	d 基	
学習・言語心理学(学習心理学)	d 基	
学習・言語心理学(言語心理学)	d 基	
9 感情・人格心理学	d 基 or g 基 ※1	
感情・人格心理学(感情心理学)	d 基	
感情・人格心理学(人格心理学)	g 基	
10 神経・生理心理学	e 基	
神経・生理心理学(神経心理学)	e 基	
神経・生理心理学(生理心理学)	e 基	
11 社会・集団・家族心理学	g 基 or h 基 ※1	
社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)	h 基	
社会・集団・家族心理学(家族心理学)	g 基	
12 発達心理学	f 基	
13 障害者・障害児心理学	g 基	
14 心理的アセスメント	g 基	
15 心理学的支援法	g 基	
16 健康・医療心理学	g 基	
健康・医療心理学(健康心理学)	g 基	
健康・医療心理学(医療心理学)	g 基	
17 福祉心理学	g 基	
18 教育・学校心理学	f 基	
教育・学校心理学(教育心理学)	f 基 or a 基 ※2	
教育・学校心理学(学校心理学)	f 基	
19 司法・犯罪心理学	h 基 or g 基 ※1	
司法・犯罪心理学(司法心理学)	h 基	
司法・犯罪心理学(犯罪心理学)	g 基	
20 産業・組織心理学	h 基	
産業・組織心理学(産業心理学)	h 基	
産業・組織心理学(組織心理学)	h 基	
21 人体の構造と機能及び疾病	x	
22 精神疾患とその治療	g 副	
23 関係行政論	x	
24 心理演習	c 副	3.実践領域 ※4
25 心理実習	c 副 ※5	3.実践領域 ※5

※1 本人の申請により適当な領域で申請可能、ただし最終的な判断は科目内容で行う。

※2 心理学の基礎分野を満たしている場合、基礎科目a領域の科目として申請可能。
(知覚・認知・学習・記憶・言語・思考・人格・動機づけ・感情・発達・社会・行動など)

※3 科目内容によって、基本主題、副次主題の判断を行う。

※4 実習内容によって、判断を行う。

※5 施設見学以外の実習を含む場合には申請可能、ただし最終的な判断は科目内容で行う。

注1 臨床心理学概論、学習・言語心理学(学習心理学)、感情・人格心理学(人格心理学)、社会・集団・家族心理学(社会・集団心理学)、発達心理学、教育・学校心理学(教育心理学)等、各領域の概論講義に相当する科目を、a領域の副次科目で申請可能、ただし最終的な判断は科目内容で行う。

注2 選択科目d領域からh領域の複数領域にまたがる科目が4単位の場合、2単位ずつに単位を分割して申請可能、ただし最終的な判断は科目内容で行う。